

プリンセス・クルーズ 2014年日本発着クルーズのシーズン開始 ダイヤモンド・プリンセスの横浜入港を、周防正行監督、草刈民代氏、 神田うの氏、道端ジェシカ氏、蜷川実花氏が祝福

新設された日本式大浴場とともに、 日本生まれの客船が改装を経て「洋上で最高の休暇」を提供

プリンセス・クルーズは本日、2年目となる日本発着クルーズのシーズンを開始した。『ダイヤモンド・プリンセス』の横浜入港は、「おかえりなさい」のお祝いムードに包まれて、人気セレブリティ達と共に歓迎された。

日本で建造された『ダイヤモンド・プリンセス』は改装を経て、日本発着クルーズを行う。今年は、2004年に三菱重工業株式会社により建造され、長崎で引き渡されてから、10年目の記念の年となる。

4月17日に横浜を最初のクルーズで発つ前に、今シーズンの幕開けとして、旅行会社や観光関連の関係者を対象とした1泊のスペシャル・プレビュー・クルーズを提供。映画「Shall we ダンス?」の周防正行監督と主演の草刈民代氏のご夫妻もお祝いに駆けつけた。映画「Shall we ダンス?」は、ハリウッドでもリメイク版が公開され、アメリカをはじめとする多くの国の方々を魅了した。プリンセス・クルーズでは、クルーズという新しい旅のかたちとライフスタイルの楽しみ方を『Shall We Cruise?』をコンセプトに日本の消費者に紹介していく。

その他にも、人気モデル道端ジェシカ氏、ウェディングドレス・デザイナー神田うの氏、人気写真家であり映画監督の蜷川実花氏、歌手であり米テレビ番組「The Voice」出演者のソニア・ラオ氏も登場した。

『ダイヤモンド・プリンセス』はまもなく『サン・プリンセス』と共に、横浜、神戸、小樽の3港を母港とした日本発着クルーズを運航する。小樽を母港とするのは、外国客船では初めて。2014年4月から10月までの期間、2隻で合計42本のクルーズを提供、5日間から10日間の10コースで、日本国内の20港以上に加え、韓国、台湾、ロシアを訪れる。

2隻ともドライドックにて大規模な改装が行なわれ、日本市場にアピールする施設が追加されている。

改装された116,000トンの『ダイヤモンド・プリンセス』の最大の目玉は、広さが約880平方メートルの洋上最大級の日本式大浴場「泉の湯」で、屋内・屋外両方に浴場スペースが設けられている。落ち着いてリラックスできる伝統的な日本式のお風呂を提供するべく、岩やその他自然素材を用いて日本人が慣れ親しんでいる大浴場の雰囲気を出している。

さらに、新設された寿司レストラン「海」では、テーブル席とカウンター席を備え、新鮮な魚介類を提供する。座席数は66席で、味噌汁、握り寿司、巻き寿司、刺身や魚介類の盛り合わせ、デザートには餡を添えた抹茶アイスクリームも提供する。日本酒好きの乗船者のために、クルーズ寄港地の地酒なども含めた多くの日本酒を味わえる。



PRINCESS CRUISES

『ダイヤモンド・プリンセス』船内の免税店も、日本の乗船客に高級感あふれるショッピングを楽しんでもらえるよう改装を行った。注目すべき新施設は、オメガのショップをメインとした高級腕時計コーナーが挙げられる。さらに、「エッセンス」ブティックでは、洋上初のフレグランス・バーが設置され、新作の香りを試すことができる。「メリディアン・ベイ」ブティックには、ジャクリーン・ケネディおよびオードリー・ヘプバーン・コレクションとともに、スワロフスキーのクリスタル製品を取り揃える。新しい高級ブティック「ライムライト」は、バーバリー、フェンディ、サルヴァトーレ・フェラガモ、コーチ、ラルフ・ローレンなど、アメリカや世界の高級ブランドをはじめとした、ブランドものの革製品やアクセサリーを揃えている。

船内のbuffetレストラン「ホライゾン・コート」も新装し、モダンなフード・サービス・コーナーと、目の前で調理するアクション・ステーション、また、ケーキ・コーナーを備えた。内装も一新して、座席数も拡大した。その他、客室を14室増設、「スカイウォーカーズ・ナイトクラブ」の屋上にはスポーツコートの新設、フォトギャラリーと「プラチナ・スタジオ」を改装、アートギャラリーの改装、イタリアン・レストラン「サバティーニ」の内装一新、カジノ改装、インターネット・カフェとウエディング・チャペルの移設等を行った。

従来のレストラン、娯楽施設や、プールデッキにある屋外巨大スクリーン「ムービーズ・アンダー・ザ・スターズ」や、最上階デッキの大人の隠れ家「サンクチュアリ」といった人気の施設に加えて、『ダイヤモンド・プリンセス』に数多くの新設備が加わった。乗客定員2,670人の『ダイヤモンド・プリンセス』は、数多くのプライベート・バルコニー付き客室を備え、多彩なレストランやエンターテインメント施設、「ロータス・スパ」、数々のブティック、インターネット・カフェ、その他の施設も充実している。

『サン・プリンセス』も同様に、昨秋3000万ドル規模の改装が行われ、プリンセス・クルーズの代表的施設であるインターナショナルカフェがアトリウムに新設されたほか、寿司やシーフードを提供するレストランも新装、buffetレストラン「ホライゾン・コート」も改装され、「ロータス・スパ」も一新された。

プリンセス・クルーズ社長のジャン・スワーツは、次のように述べている。「大規模改装を終えた2隻の客船で、2014年日本発着クルーズのシーズンを迎えることができ、期待に胸を躍らせています。日本の美しい寄港地を新たな視点からお楽しみいただくと共に、改装されカスタマイズされた施設を備えた最も豪華な『洋上のホテル』の1つに滞在する日本人のお客様に、極上の休暇を提供いたします。」

以上

お問い合わせは 株式会社カーニバル・ジャパンまで TEL:03-3573-3610 <http://www.princesscruises.jp>